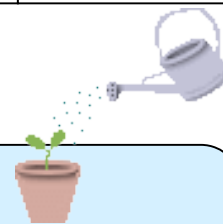


糖尿病だより

2010 年 12 月
No. 12

～薬剤科より～ インスリン療法について



Q. インスリンとは・・・

- A. インスリンは膵臓から分泌されるホルモンです。食事から得たブドウ糖をエネルギーに変え、血糖値を下げる働きがあります。糖尿病の患者さんではインスリン分泌が不足しているため、飲み薬やインスリン注射でインスリンの作用を補う必要があります。

Q. インスリン注射は一生続けるの??

- A. 足りないインスリンを補うものです。合併症を防ぎ病状を進めないために続けます。また早期にインスリンを始め、疲れ切った膵臓を休めることで自身のインスリン分泌能が回復することもあります。
- 「一度始めたらくせになって止められない」わけではありません。

Q. インスリンの保管方法は??

- A. ★ **未使用（予備）**のインスリン製剤は凍結を避けて、**冷蔵庫**で保管します。
- ★ **使用中**のペン型インスリン製剤は**室温**で保管します。

Q. インスリンを注射するタイミングはいつ??

- A. インスリンにはさまざまな種類があり、薬の作用が現れる時間が異なります。タイミングがずれると、効果が十分に発揮されません。また、2種類以上使用したり、投与回数も1日1回から4回以上など、一人一人の患者さんに合った治療を医師が指示します。

糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。



糖尿病療養指導スタッフ一同 国立病院機構 姫路医療センター